

## 気象学会に候補者推薦依頼のあった、奨励金・ 研究調査助成金・賞のまとめについて

### 奨励金等各賞委員会

昭和53・54年度の実績では、別表のように、5件の賞、6件の奨励金・研究調査助成金の候補者推薦依頼が当学会に対してなされました。今度、常任理事会の要望で、会員の便宜のために下記のような内規をもうけ、毎年1回、前年度の依頼を一括して「天気」に掲載することになりました。会員の皆さんの積極的な対処をお願いします。

#### 記

(1) 応募資格：気象学会の推薦を受けようとするものは、個人の場合は学会員に限る。グループや団体の場合は、学会員が研究活動の中心であること、したがって、その研究内容がひろく学会内での討論をへていること(ただし、代表者は学会員でなくてもよい)。

(2) 募集は原則として「天気」にその都度告示するが、別表にあるものに対して応募したい会員は、予告しておくという意味で告示がなくても随時応募してもよい。申込みは担当理事まで。

(3) 理事長が当学会員を推薦すべきであると判断した募集に対しては、応募者がなくても理事長が適当な候補者を推薦することができる。

(4) 推薦依頼の到着から申請締切りまでの期間が短かいため告示のできなかったものについては、その処置を理事長に一任する。必要ならば(3)の処置をとること。

(5) 推薦依頼のきた募集に対しては、該当候補者が不在の場合でも、締切までにその旨を主催団体に返事すること。

(6) 会員の便宜のため、毎年1回、前年度の募集状況を一括して「天気」に掲載し、(2)の案内を行なうこと。

以上

(担当理事) 新田 尚

〒100 東京都千代田区大手町1-3-4

気象庁予報部電計室

TEL 03-212-8341 (内)449

## 第6回レーザ・レーダ(ライダー)シンポジウム のお知らせと発表論文募集

期 日 昭和54年11月8日、9日

場 所 ホテル伊豆高原

〒413-02 静岡県伊東市池 893-176

TEL 0557 (伊東) 53-1155 (代)

発表申込締切 昭和54年8月20日

発表原稿締切 昭和54年10月2日

(原稿はA4判、4ページ以内、オフセット印刷)

内 容 広い意味でのレーザ計測をも含め、日ごろの研究  
成果や将来計画について御講演下さるようお願い  
いたします。

参加申込締切 昭和54年10月15日

参加費 3,000円(予稿集代を含む)

予稿集代のみ 2,000円、懇親会費 4,000円

宿泊費 1泊 3,000円前後

発表・参加申込先 〒188 東京都田無市向台町 5-4-1

電子技術総合研究所 電波電子部 レーザ研究室

柏木 寛 TEL 0424-61-2141 (内560)

主 催 レーザ・レーダ研究会

協 賛 応用物理学会 火山学会

計測自動制御学会 測地学会

電気学会 大気汚染学会

電子通信学会 地球電磁気学会

日本分光学会 日本気象学会

(予 定) レーザ学会

(別表) 気象学会に推薦依頼のあった、奨励金・助成金・賞の...一覧表 (昭和53・54年度の実績に基づく)

## 奨励金等各賞委員会 (担当理事) 松本誠一・新田 尚

名 称	主催団体	種 類 と 金 額	募 集 期 間	備 考
岡 田 賞	日本気象協会	(1) 優良研究者 (海洋学会に委託). (2) 気象事業功労者 (研究・調査・観測および測器の発明・考案等により, 気象技術の向上に寄与した者, または気象事業に貢献した功績顕著と認められた者). (3) 賞状および賞牌ならびに副賞 (10万円).	1月19日～3月20日	過去において学会員多数受賞 学会への依頼に対して、昭 和53年度は該当者なし、昭 和54年度は1名推薦.
日本科学技術情報 センター 丹羽賞	日本科学技術情報 センター	(1) 学術賞 (過去2年間の、情報科学技術に関する優秀な研究成果). (2) 功労賞 (永年の情報科学技術の振興への貢献). (3) 賞状と副賞 (記念品).	1月26日～2月15日	
地球化学研究協会 三宅賞 〔天気〕Vol. 26, No. 4 参照	地球化学研究協会	(1) 三宅賞 (地球化学の研究への顕著な学識). (2) 賞状と副賞 (賞牌および賞金30万円).	2月28日～9月1日	
東レ科学技術賞 〔天気〕Vol. 25, No. 8 参照	東レ科学振興会	科学技術賞 (2件以内の予定) (1) 学術上の業績が顕著なもの; 学術上重要な発見をしたもの; 重要な発明をして、その効果が大きいもの; 技術上重要な問題を解決し技術界に貢献するところが大きいもの. (2) 1件につき本賞: 金メダル, 副賞: 250万円 (2件以内の予定).	7月～11月15日	推薦件数: 1学会より2件以内 53年度は32学会・官庁に推薦 依頼を行なっている.
松 永 賞 〔天気〕Vol. 25, No. 4 参照	松永記念科学振興 財団	(1) 社会科学 (1名) および自然科学 (3名) 系統の基礎的研究で、学術上の業績が特に顕著なもの. (2) 個人研究でも共同研究でもよいが年齢制限あり. (3) 1口150万円.	3月～5月末日	
日本証券奨学財団 研究調査助成 〔天気〕Vol. 26, No. 3 参照	日本証券奨学財団	研究調査分野の範囲 (a) 法律学・経済学および社会学. (b) 理学および工学 (エネルギー問題または環境問題に関するものを重視). 昭和54年度の助成金の総額 3,000万円. (1) 特別研究調査 (1件400万円以内) 数件. (2) 一般の研究調査 (1件100万円以内) 十数件.	3月1日～4月末日	助成の対象は大学における55 歳以下の研究者、個人または 大学院 (グループ) の場合、 大学間にまたがっていてもよい し、代表者またはこれに準ず る者の年齢は、55歳以下に限 らない).

<p>山田科学振興財団 (a) 招へい受け入れ援助 (b) 派遣援助 (c) 学術交流集会援助 「天気」Vol. 25, No. 12参照</p>	<p>山田科学振興財団</p>	<p>(a) 招へい受け入れ援助 (1) 短期間(通例3ヶ月以内)の招へい (2) 長期間(通例1カ年間)の受け入れ (b) 派遣援助 (1) 短期間(通例3ヶ月以内)の派遣 (2) 長期間(通例1カ年間)の派遣 (c) 学術交流集会援助 条件 (イ) 11月1日～翌々年3月31日までの間に開催され、会期が7日以内であること。 (ロ) 自然科学の基礎的研究に関する講演、討論。 (ハ) 参加者100名内外。 (ニ) 複数の外国から相当数の研究者が参加すること。 (1) 年額1,000万円。 (2) 旅費、集会費等支給。 (イ) 年額4,000万円 (ロ) 渡航費、滞在費、滞在費支給</p>	<p>(a) 12月1日～翌年1月31日の2ヶ月間(ただし、翌年6月1日～翌々年3月31日の間に招へい予定の場合) (b) (1) 出発予定日より4ヵ月以前の月の15日まで (2) 12月1日～翌年1月31日の2ヶ月間(ただし、翌々年6月1日～翌々年3月31日の間に出発予定の場合) (c) 4月1日～5月31日の2ヶ月間</p>	<p>昭和54年度は、気象学会には推薦依頼を行なわない旨の連絡があった。昭和55年度以降、推薦依頼を再開して頂くようお願いしている。</p>
<p>日産学術研究助成金 「天気」Vol. 25, No. 7参照</p>	<p>日産科学振興財団</p>	<p>研究助成金 (1) 助成対象：資源・エネルギー、環境の分野(その年度により研究テーマの選び方を変えている。53年度は13の研究テーマを例示している)。 (2) 総額(研究全年度)約1億1,000万円。 (a) 助成件数：調査研究を含み8～10件。 (b) 研究1件につき3,000万円(調査研究は500万円)を限度とする。</p>	<p>6月～11月30日</p>	<p>過去において、第2回(昭和50年)に石川晴治氏のグループ(名大空電研)が700万円の研究助成を受けている。53年度、1件応募があり学会に推薦依頼がききたが、学会内における討論が不足していたので、討論の上再度応募してくれるように返事した。</p>
<p>朝日学術奨励金 「天気」Vol. 26, No. 1参照</p>	<p>朝日新聞社</p>	<p>昭和53年度は6研究に対して合計830万円。</p>	<p>12月末～翌年2月28日</p>	<p>(イ) 個人、グループ、団体を問わない。 (ロ) 応募は原則として学界関係者の推薦による。</p>
<p>トヨタ研究助成金 「天気」Vol. 26, No. 4参照</p>	<p>トヨタ財団</p>	<p>(a) 研究助成(昭和54年度の場合) (1) 助成対象：「交通安全、生活・自然環境領域」、「社会福祉領域」、「教育・文化領域」および特定課題：「地域社会の変化に関する実証的研究」。 (2) 総額(昭和54年10月15日より1年間)約2億7,000万円。 (b) 事業助成(昭和54年度の場合) (1) 助成対象：昭和54年12月1日から55年11月30日までの間に日本で開催される研究集会に、発展途上国の研究者・専門家が参加するために必要な旅費および日本での滞在費の助成。 (2) 総額約2,000万円。</p>	<p>4月～5月末日</p>	
<p>東レ科学技術研究助成金</p>	<p>東レ科学振興会</p>	<p>(1) 各学会に関する科学技術の基礎的な研究に従事し、その研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献すると思われる研究者を研究を行なっている研究者、またはそのグループ。 (2) 総額1億円前後、1件1,000万円程度とするが、あまりこの額にとらわれない必要はない。</p>	<p>7月～11月15日</p>	<p>推薦件数：1学会より3件以内。 53年度は32学会・官庁に推薦依頼を行なっている。</p>